



酷暑の中で始まった2学期

8月20日（木）、令和2年度の2学期が始まりました。この日の最高気温は甲府で37℃でした。8月中は、WBGT値や気温により、屋外での活動を制限していました。子どもたちにとっては、残念な日が続いたことになります。それでも、9月になり、最高気温も少しずつ低くなり、休み時間の活動の制限も必要ない日が多くなっています。

2学期の授業日は85日。

1学期には、様々な行事や学習活動に制限があり、中止や延期となるものが多かったのですが、山梨県の感染レベルが「1」になっていることもあり、感染症対策ができることを条件に、可能な限り様々な行事や学習活動の取り組みを実施したいと考えています。

2学期最初の学校行事は運動会です。すでにお知らせしてある通り、運動会は午前のみでの実施となります。『密』を避けるなど感染症対策のためですが、運動会に向けての取り組みを通して、子どもたちが成長できるようにサポートしていきたいと思えます。

以後、校外学習（1～4年）、陸上記録会（6年）、音楽発表会、芸術鑑賞会、林間学校（5年）、修学旅行（6年）と、子どもたちにとっては楽しい行事が予定されています。それらの行事が実施できるよう、学校でも感染症対策についての取り組みを継続しますので、ご家庭でも、引き続き子どもたちへのご指導をお願いします。

* * * * *

達人現る！

1学期の終業式、夏休みだからできることに挑戦して「達人」になってみたらという話をしました。そして、2学期の始業式の場で、達人になった人は教員に来てほしいという話をしました。すると、3人の達人が校長室に来てくれました。

1人は、「富士五湖の達人」でした。夏休みに富士五湖を覚えたと言ってきてくれました。富士五湖の略地図を書いて確認したところ、ちゃんと覚えていました。今年は富士6湖（赤池ができています）になっていることなど話しました。

次の子は、「散歩の達人」です。夏休みに毎朝おじいちゃんと散歩をしていたそうです。毎日という継続性、健康になる取り組み、何よりおじいちゃんと一緒だったというのが気に入りました。

そして、「柔軟の達人」。からだを反らせて、頭頂部に足の裏がついているではありませんか。これは一朝一夕にできることではありません。体が硬い私からすると、うらやましい限りです。お見事！

元気な挨拶で高評価！

9月1日の清掃時間中、ある中学校の先生が訪ねてきました。校長室に入ってすぐに、「いやあ、元気な挨拶でびっくりしました。」とおっしゃいました。玄関の掃除をしていた5年生が、元気に挨拶をしてくれたのだそうです。こういうあいさつで迎えられるとうれしいですね、とも。

ちょっとうれしくなりました。そして、もっと頑張らねばとも思いました。気持ちの良い挨拶ができる、そんな北っ子が1人でも増えてくれるようにしたいと強く感じました。

- ・名前を呼ばれたら『はいっ』
- ・誰かにあったら気持ちよく『おはようございます』『こんにちは』
- ・感謝の気持ちで『ありがとう』
- ・礼儀正しく『失礼します（しました）』
- ・反省の心で『すみません』『ごめんなさい』
- ・「また明日」の気持ちで『さようなら』
- ・・・・まだまだたくさんあるあいさつ言葉を、自然に使えるようにしていきたいです。

目指せ 優勝！ 燃えろ 北っ子魂！

9月4日の代表委員会で、運動会のテーマが決まりました。

運動会で競い合うことのメリットは、相手よりもより強くなるために努力すること。そして、互いに努力しあうことで、互いの力量が高まり、運動会の競技のレベルが高まり、質の高い運動会になるということ。そして、チームとして競い合い、勝つことを目指すために、仲間を大切にしなければならないことを学ぶチャンスがあるということです。最後の勝ち負け以上に大切な学びがそこにあります。

16日（水）から運動会のための特別日課になります。普段より体を動かす時間が増えるので、疲れが出ることが予想されます。お子さんの体調管理をしていただくとともに、気持ちの支えになっていただきたいと思います。

そして、子どもの成長につながる大きな学校行事を、何とか成功させたいと思います。当日の日程や様々な点で、昨年までとは違っているところがあります。運動会に関する学校からの通知をご覧ください、運動会開催につきまして、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

早朝作業の際もお伝えしましたが、北小の校庭が広い割に家庭数が少ないことから、昨年より観覧スペースを広げるなどして、ご家族や親戚の方に限りということで観覧者数の制限は設けないことにしました。安心して観覧していただくためにも、観覧スペースでの『密』状態が発生しないように、お互いにある程度のスペースを設けていただくなどの工夫をお願いします。



『近江商人の三方よし』

最近読んでいるコラムの9月10日付けの記事に、こんな言葉が出てきました。なんとなくわかるような感じでしたが、気になって改めて調べてみました。

「コトバンク」によると『「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三つの「よし」。売り手と買い手がともに満足し、また社会貢献もできるのがよい商売であるということ。近江商人の心得をいったもの。』ということでした。

商売に限らず、今こそ私たちにはこの精神が必要ではないか、というのがそのコラムの趣旨でした。続けてこんなことも、『二宮尊徳翁のたらいの水の原理にあるように、水を掻き寄せればかえって遠ざかり、相手に押しやれば、我がもとに寄ってくる。この行動を無意識に徹底させるのは、道徳か、倫理か、今からの自分（筆者）の言動か。』

子どもにとっては、身近な大人である親や教師の姿や言動にあたるのでしょう。今更ですが、子どもを育てるというのは簡単なことではありませんね。

職員に関するお知らせ

どんぐり学級3組担任の井上教諭が、9月2日より出産のための休暇に入りました。その代替職員として荻田里美教諭が勤務しています。又、どんぐり学級2組担任の横森美香教諭が介護休暇を取得することとなり、その代替として古屋孝子教諭が勤務しています。荻田教諭は3月まで、古屋教諭は10月2日までの勤務の予定です。よろしくお祈りします。

北小花日記

HPの「スクールライフ」でも紹介していますが、北小田んぼが花盛りでした。イネの「花」です。

北小学区は荒川流域で、水が豊富な地域なので、今でも水田がたくさん残っています。私の住む峡東地域では、水田だったところもほとんど果樹園になってしまっています。稲の花が満開の田んぼに近づくと、なんとなくトウモロコシのようなおいでいっぱいでした。秋の収穫が楽しみです。

花の写真は拡大して撮れなかったので（マクロ機能が不十分で…）借りものです。

